

側面支援スタッフ育成

— A M D A —

来月 広島に訓練センター

国際医療ボランティア団
体のAMDA(本部・岡山

市榎津)は、災害・紛争などの被災地で、被災民のために緊急救援活動を側面から支援する調整員を養成する「国際協力調整員訓練センター」を七月四日、広島市内に設立する。語学などの講座を通じて、国内外の災害救援に向けたスタッフの育成を進める。

日本からの国際貢献の必要性が増す中、語学力を備え、パソコンなどの通信能力も身に付けた協力者の存在が重要なことから、同訓練センターを開設する。

センターは、自前の事務所は持たず、大学生や社会人ボランティアら希望者を対象に大学や公民館などを利用して語学や通信技術講座などを開講。難民救援や大学・企業の研究などをサポートする調整員としてのトレーニングや登録を行う予定。所長には菅波茂AMDA代表が就任する。

開設日の四日は午後一時から広島文教女子大(広島市安佐北区)でオープンニングセレモニーを開催。記念式典に続き「21世紀の国際舞台に期待される調整員像」と題したシンポジウムを開く。シンポジウムの定員は四百五十人。入場無料。